

平成30年11月 日

阿賀野市長 田中 清善 様

阿賀野市総合計画審議会
会長 武田 真

阿賀野市総合計画について（答申）

平成30年8月8日付け阿財第119号をもって本審議会に諮問があった事項について、下記のとおり答申します。

記

1 阿賀野市総合計画及び阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定及び進捗状況について

【答申内容】

- (1) 阿賀野市総合計画（以下「総合計画」という。）及び阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）の改定については、妥当なものと認めます。
- (2) 総合計画及び総合戦略の進捗状況については、概ね順調と認めますが、「農業の振興」施策などで目標達成が難しい状況にある成果指標も見受けられます。

総合計画の基本計画は再来年度、総合戦略は来年度がそれぞれ計画終了年度となっておりますので、残る計画年度については経営資源の選択と集中をより一層図られ、目指すまちづくりの実現に向けて引き続き取り組みを進めていただきたい。

2 交付金事業の効果検証について

【答申内容】

- (1) 地方創生拠点整備交付金事業については、平成29年度におけるKPIは目標値を下回っていますが、鳥インフルエンザの影響等により、観光の目玉となる瓢湖における観光客入込数が減少し、市内全域での観光客数の入込にも大きく影響しているものと認めます。改修工事を実施した「コ

コミュニティセンター瓢湖憩の家」等の施設について、積極的な情報発信に努め、観光客の増加を図っていただきたい。

(2) 地域再生計画事業の阿賀野交流ゲートウェイ整備プロジェクトについては、順調に進められているものと認めます。

(3) 地方創生推進交付金事業について

ア ICTを活用した「稼げる」まちづくり・ひとづくり事業について
大型農業用ハウスを設置し、園芸振興のモデル事業として通年でトマトを栽培している状況ですが、栽培技術の更なる向上や消費者ニーズの把握等を通じて、更なる園芸振興の拡大を図っていただきたい。

イ 食・農業イノベーション拠点整備事業について

本市農業の発展につながる可能性が高い事業であるので、旧大和小学校に設置した食品乾燥施設については、実施最終年度である平成 30 年度以降も利活用し、事業を展開していただきたい。

3 社会資本総合整備計画の事後評価について

【答申内容】

※11月16日(金)に開催する第2回総合計画審議会での審議内容に基づき作成する。

以 上